

第184回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 平成24年12月6日(木) 16:00~17:00

2 開催場所 エフエム栃木 本社3階 第2スタジオ

3 委員の出席 委員総数 7人
出席委員数 6人

(1) 出席委員の氏名 早川 富美子(委員長)
片山 貴之(副委員長)
青木 敬信
古磯 勝子
片岡 真理
島田 恭子

(2) 欠席委員の氏名 森内 律子

(3) 放送事業者側出席者 大森 敏秋(代表取締役社長)
佐藤 望(放送部長)
古寺 雄史(放送部課長)

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換
(2) その他
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換

12月2日に放送した「とちジャニ ～ Tochigi gourmet journey」について、試聴と意見交換を行った。

事業者 この番組は、毎週日曜日の午前9時から30分間の録音番組として放送している栃木県の観光PR番組です。

「食」をテーマに、毎週、県内の特産品を使ったグルメの紹介をおこなっています。

また、この番組も、緊急雇用制度を利用しており、番組の制作のため、3名の専属スタッフを契約社員として採用しています。

【 番組の試聴 】

委員：使われているBGMも感じがよく、選曲も面白かった。

委員：編集により、話の自然な間合いが無くなっていて、忙しく聞こえた。
また、拍手の音をSEで出していたが、番組の信憑性が失われる演出に感じられた。

委員：ナビゲーターの中野さんは、親しみを感じる話し方だったが、発声が浅く、詰まった感じがして聞きづらい点があった。また、時折、語尾を長くする癖があるのは気になる。
また、リポーターの板谷さんは、声質もよく好感が持てたが、話し方がオーバーで、わざとらしく聞こえるところがあり、気になった。

委員：話を聞く側も、答える側も、用意されたシナリオ通りに話しているだけで、どこか面白味に欠けるレポートだった。店主も原稿を棒読みしていて、そこからは、ひまわりバーガーを作った熱意は感じられなかった。

委員：ひまわりバーガーについて、直径や厚さなどその形状や、味付けなど基本的な説明が不足していた。また、「ひまわりの種をどうやってかきあげにしたのか?」「ひまわりが入ると、どうおいしくなるのか?」など、聞き手自身も気になるだろうことを質問して欲しかった。
そのように、ほとんどそのイメージも魅力も伝わってこない中で、その値段について安易に「お得だ」と言い切ったことに、非常に違和感を感じた。

事業者：取材先には、おおまかに質問の内容は伝えていた。また、今回の収録は、専属スタッフのみでおこなって、プロの制作ディレクターは同行していなく、紹介グルメの描写・表現などに至らない箇所があったようだ。

委員：ひまわりバーガーは、はみ出しているところにタレがついてなかったり、地産地消を謳っているのに、エビは南米産であると言ってみたり、違和感があった。
県が提供するグルメ紹介番組なのだから、お店の試作メニューのようなものではなく、その地域に行けば普通に食べることの出来るようなグルメの紹介を期待していただけない、この内容は残念に感じた。

委員：リポーターが現地でグルメを紹介するだけでなく、スタジオに持ち帰ってきたものを、ナビゲーターの中野さんがその感想を述べるなど、紹介するグルメを多角的に伝える工夫がほしい。

委員：グルメの紹介というよりは、宣伝になってしまっていた。
メディアとして公平性を保ちつつ、客観的な視点から物事を紹介してほしい。
その中で、いいものだと伝わることの方が、結果として本当によりPRになるのでは…。

委員：昨今、各地域のB級グルメに注目が集まっている。そういった中、栃木県内のグルメにスポットを当てる番組の試みは評価したい。面白い番組テーマであるだけに、期待も大きくなる。そういったことを受け止めて、今後も真摯により番組作りに努めてほしい。

(以上)

(2) その他
なし

(3) 次回開催日程について
次回の開催を1月10日(木)とすることについて、全出席委員の了解を得た。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日
なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日
(1) 放送 12月30日(日)午後7時55分の「レディオベリーインフォメーション」内
(2) 書面 本社事務所に備え置き
(3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項
なし